

患者はLSTR療法に何を期待しているか

大河原泰雄 Yasuo OOKAWARA

大河原歯科医院
〒994-0013 山形県天童市老野森3-8-2

LSTR療法とは、私にとってまさに目から鱗が落ちる治療法であった。しかし、その原理を理解し、治療方法を実践できるようになるまでには、かなりの時間を費やしたばかりか、今までの治療法との間でジレンマに陥りずいぶん悩んだ。そして術後の結果を見るまでは、懐疑的な思いを引きずりながらの治療法であった。

幸いその結果は、驚くべきものであった。今までの筆者の実力では、とうてい保存できなかった歯を助けることができるようになったことは、当医院の患者さんたちにとって朗報でもあり、また、筆者にとっては大きな臨床技術の修得であった。

LSTR療法を、何症例かやってみるうちに次第に、このケースには有効であるが、このケースでは少し患者さんに痛みが出てくる可能性があるなど、自分なりに臨床の実際に即して理解できるようになってきた。いわゆる歯髄炎の急性期には不向きではないか？ という思いもある。患者さんがLSTR療法に期待しているのは、歯を削らない、神経をとらない、痛くない、治療回数が少なくすむ、歯を抜かずに永く使えるようになるなどであり、患者さんの立場に立ってみれば至極当然の要求かもしれない。われわれ歯科医師にとってみれば、患者さんからもたらされたこのきわめて高いハードルは、実は実現可能な方法が見つけれられたからこそ掘り起こされたといえないだろうか。

患者さんは、今までの歯科医療に、本当は絶望感と諦めを持っていたのだと思う。そこに、夢のような治療法が出現したのである。

大部分の患者さんは、歯科医師側がよいと思う治療法（インプラント、審美歯科、その他の高額な治療等）を本当に望んでいるのだろうか？ 誰も自分の歯で一生を過ごしたいと思っているのではないだろうか。

今回は歯の喪失原因や、治療および予防を議論するつもりはない。明らかにこのLSTR療法は、歯の保存をするための、現時点では最高の方法と思う。それゆえに患者さんにこれを行い、成功裏に終わることは、筆者にとって無上の喜びである。しかし、患者さんのこの治療に対しての期待が大きいほど、失敗したときの落胆や不信感は、想像を超えたものとなろう。成功することが当たり前の治療法なのである！ う蝕や歯周疾患に罹患しなければよいが、現状では不可能に近い。そうであれば、LSTR療法はわれわれ歯科医師がぜひ修得すべき治療法であろうと考える。

ただ、患者さんの中には、今までの治療法と違い、何もしないで、歯に塗るだけで魔法のようにたちどころに痛みが消えたり、虫歯が元の健全な歯に再生すると思こんでいる人がいることもまた、無視できない問題であろう。これは、TVや各種出版物等から3Mix-MP法の効果の一端を知り、そのインパクトの強さから自分なりに脚色を加えて誇大に解釈してしまった結果と思われる。いいかえれば、それほどまでに患者さんは今までの治療法に、苦労や辛抱を強いられてきたといえるのではないだろうか。LSTR 3Mix-MP療法におおいに期待を持っているのではないかと思われる。